



アクテノン

NO.102

名古屋市演劇練習館機関紙

エッセイ

「アクテノン記念 江崎演劇賞」



残照の中に、その建造物はあった。
私は父に手を引かれながら、圧倒された気持ちで、聳え立つ円柱を見上げ、物語の中に出てくるギリシャの神殿を思い描いていた。まだ大阪に住んでいたころだから、叔母の家に遊びに来たときに見たのだろう。もう何十年も前のことなのに、不思議なほど鮮明に記憶している。

それが稲葉地の配水塔であったと知ったのは、名古屋に移り住んでからのことである。

記憶の中のギリシャ神殿が、白亜の演劇練習館「アクテノン」に変貌すると、私は足繁くここに通うようになった。それはたぶん、江崎順子さんという女優のおかげだ。彼女の所属する劇団・夏蝶の依頼で、戯曲を書いたのが縁で、脚本と演出を受け持つラジオドラマに出演をお願いするようになったのである。六年間に及ぶシリーズドラマの大半に江崎さんは声を残している。心情を滲ませる、美しい声だった。

そんなわけで、舞台劇の世界に軸を移したとき、真っ先に声をかけた。稽古場はアクテノン。彼女の家が自転車道で数分の所にあったからだ。

稽古が始まるのはほとんどが夕方から。残照の中に立つアクテノンは、懐かしく、けれどすっかり美しく生まれ変わって、私たちの芝居を抱え込んでくれた。その稽古場で聞く江崎さんの「おはよう」の声は、ラジオドラマの現場よりも、はるかにみずみずしく、力にあふれていた。

麻創 けい子 (劇作家・演出家)

その後、私は人形劇を生業とする有志たちと「ひと組」を立ち上げ、江崎さんに会うこともアクテノンに通うことも間遠になった。しばらく振りに訪れると、すぐそばにあったプールはグラウンドに変わり、アクテノンを利用する団体も新しい名前が増えていた。当然のことだが、町も人も変わって行く。一番変わったのは、その場所に、もう江崎さんがいないことだ。

けれども、訃報を聞いたときも、偲ぶ会に出席したときも、不思議に喪失感がなかった。彼女の声は、今も、耳の底に美しく響き、練習室の扉を開ければ、昔のままの姿で台本を開いている気がするのだ。町が、人が変わっても、変わらず存在するものは確かにある。

そう言えば、倉本聰さんの「町」というテレビドラマに、脚本家である主人公が、想いを寄せながら去って行った喫茶店の女主人のことを、その息子に告げるこんな台詞がある。

「君は知っているのか。君の母親がああ頃この町で…(中略)…常にみずみずしく光っていたことを」

江崎順子さんという女優は、もういない。けれど、彼女が通い続けたアクテノンに、みずみずしい感性を持って集う人々はあり続ける。そんな人たちを励ますために、「アクテノン記念 江崎演劇賞」は生まれた。

芝居を、舞台を愛する人がいる限り、彼女の思いは消えない。アクテノンもまた、人影の絶えた遺跡にはならない。



はぐはぐ☆カンパニー公演
「らくだ」
'17年4月2日

尾張旭市東部市民センターふれあいホールにて



ひと組公演 時代横町218
「八十七丁目 お化け旅籠」
'18年5月1日

損保ジャパン日本興亜人形劇場ひまわりホールにて

トピックス

アクテノン記念 江崎演劇賞創設について



2019年4月、名古屋に新たな演劇賞「アクテノン記念 江崎演劇賞」が名古屋市文化振興事業団により創設されました。この賞は2018年6月に逝去された故江崎順子氏の遺志を受け継ぎ、ご遺族からの寄付をもとに、江崎氏の名古屋市域における演劇分野の振興に対する情熱とアクテノンへの想いを後世に受け継ぐことを目的とした演劇賞です。

名古屋市出身の江崎氏は旧名古屋演劇アカデミー2期を卒業後、1984年に「劇団・夏蝶」を結成。長年にわたり日本の女性の生き方を描いた作品を中心に舞台上で上演し、他劇団への客演、テレビ、ラジオドラマに出演。司会や朗読の講師など多岐にわたり活躍されました。

また、アクテノンの開館当初から運営委員を務めるなどアクテノンに愛情を持ち、当館の運営にも深く関わっていただいたことから、江崎氏が亡くなられた3ヶ月後の9月には、企画展「江崎順子のカーテンコール～劇団・夏蝶のあゆみとともに」をアクテノンの1階資料コーナーで約1ヶ月にわたり開催し、生前交流のあった方々と共に追悼しました。

江崎氏の想いをのせた「アクテノン記念 江崎演劇

賞」が、魅力ある演劇人の活躍の後押しになり、演劇界のさらなる発展につながることを期待します。

<アクテノン記念 江崎演劇賞>

- ・近年の継続した演劇活動がとくに顕著で、名古屋市域の演劇の振興に貢献のあった個人または団体に毎年1件授与する。
- ・正賞：賞状、副賞：賞金30万円。(受賞記念公演に対し会場費として上限25万円を助成)
- ・名古屋市域の各演劇の分野で活躍する5名の選考委員により選考。
- ・第1回授賞式は2020年3月中旬を予定。

江崎順子プロフィール

俳優。劇団・夏蝶代表。
劇団・夏蝶公演'93「女の庫」(作/麻創けい子 演出/木崎裕次)と'98「マンザナ、わが町」(作/井上ひさし 演出/木崎裕次)で、2度名古屋市民芸術祭賞受賞。2004年一人芝居「花いちもんめ」(作/宮本研 演出/わらしべ長者)で名古屋演劇ペンクラブ賞受賞。2018年6月12日逝去。



一人芝居「花いちもんめ」

アクテノン・シャワー

■ キャンドル演劇奨励基金の助成作品募集

キャンドル演劇奨励基金（名古屋テレビ事業が平成5年に設定）が、2019年度の助成作品を募集します。愛知県内に活動拠点を置く演劇団体の舞台公演が対象です。3作品を採用して、各30万円を助成します。募集の要項は下記の通りです。

1. 対象作品：愛知県内に活動拠点を置く演劇団体の県内舞台公演 3作品
2. 公演期間：2019年10月1日～2020年9月30日
3. 助成金額：1作品 30万円
4. 募集期間：2019年6月30日（日）まで
5. 応募方法：所定の申込書を下記へ送付
6. 申込書の請求および送付先：〒105-8574 東京都港区芝3-33-1
三井住友信託銀行 個人資産受託業務部 公益信託グループ
キャンドル演劇奨励基金申請口（TEL 03-5232-8910）申込書掲載URL
<http://www.smtb.jp/personal/entrustment/management/public/example/list.html>

■ 稲葉地オープンライブ Vol.1

「ドラムMeets電子オルガンコンサート
～ドラムと電子オルガンによる
コラボレーションコンサート～」

名古屋音楽大学の学生たちが繰り広げるバラエティー豊かな音楽の世界。千本桜、Asian Mogler、Happy and do など楽曲をコラボレーション!! ぜひ、ご家族皆様でご来場ください。

日時：2019年6月16日（日）13：30～（約1時間）

場所：演劇練習館アクテノン 野外劇場

※雨天時は施設内1階 資料コーナー

入場料：無料

※詳細は演劇練習館までお問い合わせください。

駐車場がありませんので公共交通機関をご利用ください。

アクテノン利用団体紹介

- ① 発足年 ② 団員数 ③ 主な上演作品/会場（上演年） ④ 連絡先

演劇 優しい劇団



優しい劇団です。昨年9月、尾崎・可児・大岩の三人で結成し、唐十郎作『少女仮面』で旗揚げしました。「人の心の涙を拭う演劇」をモットーに、現在は劇団員4人で活動中です。俳優の熱量を押し出した特権的な演劇で、観て頂いた方に生きる活力を与えることを目指しています。

僕たち優しい劇団は、名古屋で小劇場ムーブメントを起こすという目標があります。

まずは一人でも多くの方に優しい劇団を知っていただきたいです。ご声援のほどよろしくお願いたします。

アクテノンに一言 素敵な場所です。いつも楽しく利用させていただいています。6/8(土)・6/9(日)にはアクテノンでワークショップ&交流会も開催させていただきます。これからもよろしくお願いたします。

- ① 2018年 ② 4名
③ 『表に出ろいっ!』/PICO2('19年)
『少女仮面』/PICO2('18年)
④ 尾崎 優人
HP:<https://yasashiigekidan.wixsite.com/official>
Twitter:@yasashiigekidan
E-mail:yasashiigekidan@yahoo.co.jp

演劇 有頂天演劇Collaborations



2018年に愛知県の高校演劇出身者によって結成された団体です。有頂天は、三谷幸喜さんの「THE 有頂天ホテル」から名付けました。何事も楽しんじゃえ精神、カーニバル世代の団長と、現実的で眼鏡で天邪鬼なマニュアル世代の脚本係と、それに振り回される劇団員。

旗揚げ公演「ドラマチック・トマト」ではトマト嫌いの男の子がトマトを克服するだけのことを1本の作品に仕上げるなど一風変わった団体。新たなコメディ作品を作り出していくため日々奮闘中!これは見逃せません!!

アクテノンに一言 アクテノン様日々稽古で使用させていただき大変お世話になっております。感謝感謝雨霞。。壁に鏡があったり更衣室が作れたりとても設備的に充実していて感謝感謝です。これからもお願いたします!

- ① 2018年 ② 8名
③ 『ドラマチック・トマト』/青少年交流プラザ ユースクエア('19年)
④ サワダユウキ
HP:<https://utyoutennengeki.jimdofree.com>

公演のご案内

★アクテノンの利用団体の公演をご案内します。※詳細は劇団へお尋ね下さい。①会場 ②日時 ③料金 ④問合せ先

| | |
|---|---|
| 劇団BB★GOLD 『青い屋根の館』 | ① 名古屋市千種文化小劇場（ちくさ座） ② 6月28日（金）14：00 19：00 ③ 1,500円（当日2,000円） ④ ☎090-7952-1344 bbgoldside@gmail.com（吉川洋子） ホラーでコメディな今回のお芝居は不思議な魅力に溢れています。ぜひ観ていただきたい作品となりました。 |
| 刈馬演劇設計社 『神様から遠く離れて』 | ① 名古屋市千種文化小劇場（ちくさ座） ② 7月5日（金）19：00、6日（土）13：00 18：00、7日（日）11：00 16：00 ③ 2,800円（当日3,000円）U-25 2,300円（当日2,500円）高校生以下1,800円（当日2,000円） ④ karuma_engeki@yahoo.co.jp 逃げなくちゃ 1歩でも遠く 神様が追いかけてくる |
| よこしまブロッコリー 20周年記念公演 再見シリーズvol.3 『ライフ-selection-』 | ① 名古屋市千種文化小劇場（ちくさ座） ② 8月2日（金）19：00、3日（土）14：00 19：00、4日（日）11：00 16：00 ③ 2,500円（当日3,000円）ペア4,000円 学生1,500円 ④ ☎090-6596-6115 yokoshima.br@gmail.com 代表作『ライフ・イズ・ストレンジ』『歩く人』、ぐっと胸に迫る2作品を上演!どちらもぜひ! |
| 右脳中島オーボラの本妻 vol.10 『つよいこども』 | ① 名古屋市青少年交流プラザ ユースクエア ② 8月3日（土）15：00 19：00、4日（日）11：00 14：00 17：00 ③ 2,000円（公演協力費） ④ oobora6@yahoo.co.jp 自称「名古屋演劇界の鼻つまみモノ」が放つ長編最新作。 |



編集発行/令和元年5月25日（年4回）

公益財団法人名古屋市文化振興事業団 [演劇練習館 [アクテノン]]

〒453-0841 名古屋市中村区稲葉地町1-47

TEL 052-413-6631 FAX 052-413-6632

※この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。



「友の会」会員募集中!
<http://www.bunka758.or.jp/>



施設からの
情報を
ご覧いた
だけます!

